



この地球上で、この場所で
こうして出会えた奇跡に感謝
こうしてかわり合うことが
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校
平成30年度学校だよりNo.14
平成30年9月28日
文責 校長 吉尾直樹

全校生徒の絆をつなぐタスキリレーに 9月26日 駅伝試走

いよいよ目の前の10月10日に迫った市中総体駅伝大会。全校生徒で、駅伝の試走を田平の久吹ダムで行いました。風が強い中でしたが、気温も低く、駅伝には絶好の天気でした。

それぞれが2、3、4kmのタイムトライアルをした後、午後にはミニ駅伝大会を行いました。全校生徒28名が日々の練習を積み重ね、大会当日は、全員の思いと絆をつなぐタスキリレーを見せます。応援をよろしくお願いします。

また、右の写真の学校のぼりは、先日亡くなられた渡邊テル子様のご親族様からいただいたものです。みなさまの思いが込められたのぼりを見ながら、大会では、最後まで力を尽くします。



大賀キャンプ場(歓迎遠足)



「大島っ子」のまっすぐさを大切にしてください 9月28日 上野稚加先生 お別れ会

いつも笑顔を絶やさず、私たち大島中生徒のために努力していただいた 上野 稚加 先生が、9月いっぱい本校を退職することとなりました。上野先生は、昨年の10月から1年間、本校の国語科として、今年度は1年生担任としてもご活躍いただきました。

本校を去られるにあたって、子どもたちとの出会い等についてお尋ねしました。

「大島に初めて来た印象は？」…海の青、木々の緑、風車の白とコントラストが美しい、自然豊かな場所。「大島中の生徒は？」…人なつっこくて、自分から話しかけてどんどん話をしてくれるので、とても楽しかったです。

「国語の授業は？」…10問テストから始まる授業で、授業準備も大変でしたが、たくさんのお話や授業ができて、私自身も勉強をさせてもらいました。特に、言葉をわかりやすく伝えることが難しかったです。「図書係として」…時間がないことも多いとは思いますが、一冊の本との出会いはとても大事。この中学生の時期に、少しでも本に親しんでほしい。

「ソフトテニス部に」…部活動の指導はとても楽しかったです。試合に勝ったと報告に来てくれた時には、一緒に喜ぶことができました。

「最後に大島中生徒に」…みんなが持っている、そのまっすぐな気持ちをこれからも大切に、この大島を支える人として、優しく、たくましく成長していきましょう。保護者の皆様には、今までたくさん助けていただきました。初めての島での暮らしもとても楽しかったです。ありがとうございました。

上野先生は、9月29日(土)の最終便16:25で島を出られます。ぜひ、見送りにお越しください。

「幸せな人はだれでも、他の人まで幸せにするものである。」

アンネ・フランク(『アンネの日記』の著者/ドイツ)

一人だけで幸せになる人なんかいない。それらを忘れて自分だけがうまくいけばいい、幸せになればいいという人や国があるが、絶対に幸せになれない。他の人を幸せにしないで幸せになる人など、この地球上にだれ一人いないし、これまでもいなかった。

アンネ・フランクの言葉は重く、真実をついている。上野先生が、みなさんから喜びを感じ、みなさんも喜びを感じたように、あなたもだれかを幸せにし、そして自分も幸せになっているのです。